

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-62	小学校	外国語	英語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 505	CROWN Jr. 5		

1. 編修の基本方針

編修の趣旨

本書は、英語教育を通して、確かな学力、国際社会に対応できる資質・能力と、豊かな人間性を育成することを教育理念とし、それを具現化するため、次の4点を編修の基本方針としました。

学びに向かう力を育てる

学ぶことを楽しむ心を育み、主体的・協働的に学ぶ力を育成します

ことばを使う力を育てる

ことばに気持ちに乗せられる活動を通して、基礎的な英語力を育成します

考える力を育てる

目的や場面、状況に応じて、考えながらコミュニケーションを図る力を育てます

他とかかわろうとする心を育てる

児童の世界を広げる題材を通して、人や文化など、他とかかわろうとする心を育みます

編修の基本方針

① 学びに向かう力を育てる

目標・見通し・ふりかえりという学びのプロセスを大切に、自分の気持ちや考えなどを伝え合う言語活動を柱として、学ぶことを楽しむ心を育み、主体的・対話的・協働的に学ぶ力の育成を目指しました。



学びの見通しを立てる

- 外国語活動やそれまでの授業で身につけたことをもとに活動をし、自分ができること・できないことを確かめます。
- JUMP でどのようなことを言えるようになりたいか、学習の見通しを立てます。



語彙や表現を増やす

- 単語や表現を、使いながら身につけます。「聞く」「話す」活動を中心に、「読む」「書く」活動にも慣れていきます。
- 複数技能を統合した活動で、英語を用いる力を強化します。



実際の場面で表現する

- STEP で積み重ねてきたことをもとに、実際のコミュニケーションの場面で、自分のことや身近なことなどを表現します。
- グループで活動し、主体的・協働的に学び合います。

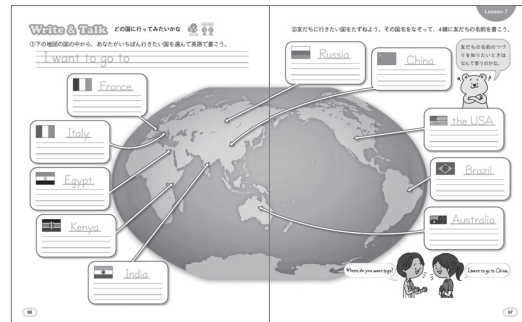
- ・ HOP～STEP～JUMP で1ユニット、各学年に3ユニット、2学年合計6ユニットで構成しました。
- ・ HOP の活動をすることで、児童は、各ユニットで目指す姿を把握し、JUMP で実際の場面で表現できるように、STEP での学びに向かいます。
- ・ STEP では、児童は音声から文字、理解から表出〔表現〕の順で学んでいきます。

②ことばを使う力を育てる

ことばに気持ちを乗せられる活動を通して、ことばへの気付きを大切にしながら、実際のコミュニケーションで活用できる基礎的な英語力を育成することを目指しました。



(pp.16-17 Panorama)



(pp.96-97 Write & Talk)



(pp.18, 20, 22 Listen & Talk)

- ・英語を使う体験をしながら、系統的にことばへの気付きが促されることを指向しました。
- ・児童が、ことばの使い方などの気付きを促すインプットを浴び、少しずつ自分のことを表現するアウトプットを増やしていくような活動の流れを設定しました。【Panorama → Listen & Talk】
- ・児童が共感できる、ストーリー性のある話題を選ぶとともに、そのことを言う「必然性」を大切に場面を設定しました。【Listen & Talk・Write & Talk/Write & Speak/Listen& Write (統合活動)】
- ・既習表現を駆使して考え、自ら選択でき、自分の思いをことばにすることを大切にしました。「思い」を大切に、意味・内容に焦点があてられたやりとりを通して学んでいきます。【Talk to Friends・Write & Talk/Write & Speak/Listen& Write (統合活動)】
- ・既習の表現を繰り返し聞いたり話したりする、音声で学んだことを読んだり書いたりする、学んだ語彙や表現を実際に使う活動をおこなうなど、それぞれの活動が関連を持ち、「スパイラル」にことばの力が育成されることを目指します。【Listen & Talk Part 1~3や Chant → Enjoy Readingや Story → JUMP】

③考える力を育てる

身近で簡単な事柄に関する活動を通して、目的や場面、状況に応じて、考えながらコミュニケーションを図る力を養うことを目指しました。



(p.75 HOP)



(pp.72-74 JUMP)

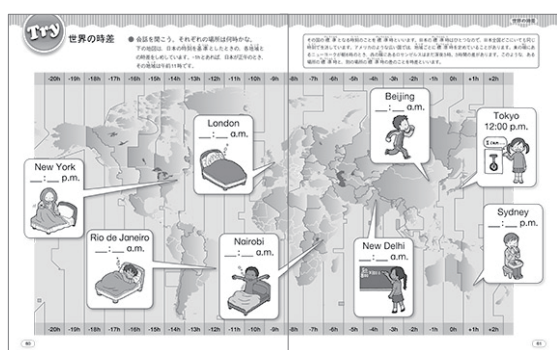


(p.14 教室で使う英語)

- ・相手がだれで、どんな状況なのかを意識して伝え合うことを大切にしました。どんな相手に、どんな目的を持って、どんなことを伝えるかを考え、その目的・場面・状況に合ったコミュニケーションをとれる力の育成を目指しました。【HOP・STEP・JUMP】
- ・児童の、考える力を育てることを大切にしました。グループで協働的に活動することで、互いに学び合うことができるような活動になるように工夫しました。【JUMP】
- ・知識・技能と思考力・判断力・表現力を活用する活動の中で、話し手、聞き手、書き手、読み手などを意識し、よりよいコミュニケーションを成立させるポイントも重視しました。【JUMP (Tips) ・教室で使う英語】

④人や文化など、他とかかわろうとする心を育てる

児童の世界を広げる題材を通して、広くことばに関心を持ち、何語であれ、相手がだれであれ、相手を意識しながら、他とかかわろうとする心を育むことを目指しました。



(pp.60-61 Try 世界の時差)



(pp.98-99 日本、大発見)



(pp.108-109 この日本語、どこから来たの?)



(口絵 世界のあいさつ)

- ・教室内であっても、外の世界とのつながりを意識した活動を通して学んでいくことを指向しました。「英語を学ぶことで広く世界に扉が開かれる」ことへの気づきを重視しました。
- ・児童が、自分の特性に応じて学べるよう、活動や題材を工夫しました。また、他教科で学習した内容を、英語でも活かせるように工夫しました。【世界の時差・日本、大発見・この日本語、どこから来たの?ほか】
- ・海外の話題で世界を広げるだけではなく、日本文化の発信に資する題材、児童自身の世界を広げる題材についても気を配りました。【世界のあいさつ・実世界の英語・日本、大発見ほか】



(p.29, 67 実世界の英語)

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	①取り扱う題材は、児童の知的欲求に合致するものを選択しました。(第1号)	Get Ready (HOP) Lesson (STEP) Presentation (JUMP)
	②物語では、児童の感性に訴える作品を配置しました。(第1号)	Story
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮するなかで、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材を扱いました。(第2号)	Lesson (STEP) Lesson 2, 3
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱いました。(第3号)	Get Ready (HOP) Lesson (STEP) Presentation (JUMP)
	⑤自然科学、環境を扱いました。(第4号)	Lesson 2, 6, 7
	⑥日本の伝統文化、および他国の文化を扱いました。(第5号)	Lesson 4, 5, 7 実世界の英語 Presentation 3 「世界のあいさつ」 「日本、大発見」
言語活動	①各課の言語活動においては、取り組む児童の個性・創造性・自主性が発揮されるように配慮しました。(第2号)	Get Ready (HOP) Lesson (STEP) Presentation (JUMP)
	②言語活動においては、職業および勤労、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、平和の問題などの題材を扱いました。(第2号, 第4号, 第5号)	Lesson 3, 7 「日本、大発見」
	③ペアやグループなどの形態を重視し、児童同士が協力して活動に取り組めるように配慮しました。(第3号)	Presentation (JUMP)
付録	児童の自律的な学びを支える付録を配置しました。(第2号)	日本語のローマ字表・アルファベット表 アルファベットカード 時差時計
登場人物	登場人物の配置及び活動については、男女・出身地域の偏りがないように配慮しました。(第3号, 第5号)	全課にわたる登場人物およびその活動
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、児童にわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮しました。(第2号)	HOP～STEP～JUMP の流れ 各課の構成 CAN-DO リスト

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

①すべての児童が学習しやすい紙面づくり

◎特別支援教育への配慮

- ・カラーユニバーサルデザインの見地より、識別しにくい配色は避け、また、形や記号・番号、説明文などの補助的な手がかりを設けました。色の濃淡や罫線などの工夫を凝らすことで、だれもが使いやすい教科書となるよう配慮しました。
- ・特別支援教育の見地より、補助的な手がかりを設けるなど、学習に困難な児童への配慮と対応をしています。

◎学習上の配慮

- ・基本的に見開き構成とし、その時間に学習する内容が一目でわかるようにしました。また、教材の配列をわかりやすくし、パターン化することで、英語の学習に集中できるように配慮しました。
- ・英語の文字の書き始めの手本となるよう、専用の手書き文字フォントを作成し、書く活動においては、すべて専用フォントを使用しました。また、4線の幅を十分に取るように配慮しました。
- ・児童の読みの負担を軽減するため、当該学年以降に担当されている漢字のすべてにふりがなをつけました。
- ・題材や挿絵に登場する人物などについて、性別による偏りがないように配慮しました。また、人種や身体的特徴などについても、多様性に意を用いました。
- ・単語の音声を二次元コードで提供し、教科書全体が、絵辞典としても使えるようにしました。

②環境にやさしい教科書づくり

- ・用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用しています。
- ・インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用しています。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-62	小学校	外国語	英語	第5学年
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英語 505	CROWN Jr. 5		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

①見通しをもって主体的・協働的に学ぶ力を育成するために

学びのプロセスを「見える化」し、見通し→習得→活用の流れをスムーズにしました

- ・習得から活用へ、学ぶプロセスを「見える化」し、4技能5領域をバランスよく育成します。
- ・HOP～STEP～JUMPで1ユニットとし、各学年に3ユニット、2学年合計6ユニットを配置しました。
- ・巻末にCAN-DOリストを配置し、児童が自分の学びをチェックできるようにしました。



学びの見通しを立てる

- ・HOP(Get Ready: 1 ページ)には、そのユニットの全体像を把握する役割をもたせました。診断的活動を通して、児童が自身の力を確認し、JUMPに向かう動機づけのページとしました。
- 診断的な活動を通して、いまの自分にできること・できないことを確かめます。
- JUMPでどのようなことを言えるようになりたいか、学習の見通しを立てます。
- 目標達成のために、STEPでどのような表現や語彙を習得したいか、確認します。



基礎・基本を習得する

- ・STEPには2～3のLessonを配置しました。それぞれのLessonは、パノラマと技能統合型活動を含む、全10ページで構成しました。
- 場面を通して、表現や文構造に出会い、それらを使いながら身につけます。
- 語彙を増やし、文字と音とのつながりにも気付きます。
- 「聞く」「話す」活動を中心に、「読む」「書く」活動にも慣れていきます。
- 複数技能を統合した活動で、英語を用いる力を強化します。



習得したものを活用する

- ・JUMPはPresentationとして位置づけました。JUMP 1(2ページ)とJUMP 2(1ページ)の、ふたつの活動を配置、一度活動した後に修正してやりなおすことで、児童が達成感を得られるようにしました。
- 児童が本当に言いたいことを言う活動を設定しました。
- 第3学年からここまで経験した表現や文構造を、目的の明確な言語活動の中で、思考力を働かせながら、意志をもって選択的に使います。
- JUMP 1で活動した後にふりかえり、そのふりかえりを、JUMP 2で修正して活かします。
- グループで活動し、主体的・対話的・協働的で、深い学びを実現します。

②ことばを使う力を育てるために

インプットからアウトプットへ、STEP[Lesson]では基礎的な英語力を育成します

● STEP を構成する各レッスンはパターン化され、指導しやすく学びやすい構成

大量のインプット	焦点化したインプットで徐々にアウトプットにつなげる	まとめの活動
Panorama	Listen & Talk ▶ Enjoy Listening ▶ Talk to Friends	Write & Talk Write & Speak Listen & Write
	Sound Chant ▶ Enjoy Reading	
	Word Chant	
	Story	
	実世界の英語	

● 気付きを促す大量のインプットから、焦点化したインプットを経て、徐々にアウトプットへ

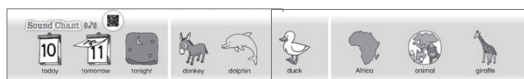


Panorama には、一枚絵を配置しました。楽しいイラストで場面や状況を示し、語彙や表現をインプットします。



Listen & Talk では、パノラマで十分に慣れ親しんだ表現のひとつに焦点化。**Word Chant** も加えてさらにインプットし、少しずつアウトプットにつなげます。

● 文字と音のつながりへの気付きを促す Sound Chant と Enjoy Reading



Sound Chant では、リズムに合わせて語彙を導入します。同じ音をもつ語を集めて、文字と音のつながりへの気付きを促します。



Enjoy Reading では、お話を聞きながら、文字に親しみます。ユーモラスな内容で、飽きずに何度も聞いているうちに、自然に文字と音のつながりに気付くことができるように工夫しています。

● 児童の世界を広げる Story と 実世界の英語



Story では、なじみのある物語を英語で味わいます。イラストと、既習表現の吹き出しを助けとして、「聞き取れた」「読めた」と達成感も味わいながら、楽しめます。



実世界の英語は、教室と、外の世界をつなぐ架け橋です。5年生では、道路標識、グリーティングカード、観光案内ポスターを取り上げました。

● 1文から複数文へ、そして統合活動で運用能力を強化

The diagram illustrates a learning flow. On the left, 'Enjoy Listening' (Lesson 1) includes listening exercises and a 'Talk to Friends' section. This is combined with a 'Story' box containing 'Enjoy Reading', 'Sound Chant', 'Word Chant', and '実世界の英語'. An arrow points to the right, where 'Write & Talk' (Lesson 1) features writing and speaking tasks, and a 'Word Bank' section with a 'Sunday' schedule template.

Enjoy Listening では、各 Listen & Talk で焦点化した表現をまとまりのある形で聞いて確認します。**Talk to Friends** ではバリエーションも参考にしながら、自分のことを伝え合います。

Write & Talk / Speak, Listen & Write では、レッスンのまとめとして技能統合型の活動を配置しました。「書く」ことも取り入れながら、「話す(発表/やりとり)」で自分のことを伝え合います。

● 教科書が絵辞典になる二次元コード

The illustration shows a QR code on a book cover, a 'Sound Chant' card with a QR code, and a 'Word Chant' card with a QR code. In the background, a classroom scene includes a 'blackboard' and a 'classroom' label, both with QR codes.

Panorama, Spotlight, Sound Chant, Word Chant, 教科書巻末の Words & Phrases などには、二次元コードを付しました。デジタル機器を使って、語句や表現の音声を聞くことができます。

③考える力を育て、目的・場面・状況に応じたコミュニケーションを図る力を育成するために

学習を見通す HOP/目的・場面・状況に応じたプロジェクト型活動 JUMP

The screenshot shows the 'HOP Welcome to Japan!' activity. It includes a 'Get Ready' section with images of Japan, a map, and a 'Write and draw' section for students to describe their own country.

The screenshot shows the 'JUMP Mt. Fuji is beautiful.' activity. It is structured into 'Think', 'Share', and 'Communicate' phases. The 'Share' phase includes 'MEMO Hand' and 'MEMO Masato' sections. The 'Communicate' phase has 'You can... Ready?' and 'I want to...' sections.

The screenshot shows a 'JUMP' goal-setting activity. It includes a 'Goal!' section with a checklist: 'グループで、ボスターのテーマを再確認して、Goalに書く。', 'ボスターを表現させて、発表の練習をしよう。', 'ほかのグループに伝えよう。アドバイスを受けよう。', and '発表者、ボスターセッションをしよう。'. It also includes a 'Check and Support' section.

HOP では、外国語活動やそれまでの授業で身につけた力で、できること・できないことを確かめて、**JUMP** に向けて目標を定めます。

JUMP は、STEP で学んだことの集大成。実生活にダイレクトに結びつくタスク設定で、目的・場面・状況に応じて、思考力・判断力を働かせながら自己表現をします。グループでの活動を基本とし、主体的・協働的に学び合います。

JUMP 1 のふりかえりをすぐに活かせるように、少しだけレベルアップした **JUMP 2** を配置。達成感をもって、次の HOP に進みます。

④ 児童の世界を広げ、人や文化など、他とかかわろうとする心を育むために

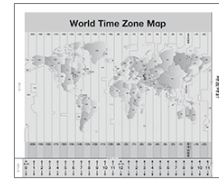
- 豊富な巻末付録 自律的な学びができるよう、切り離して使える付録を豊富に用意しました。5年生では「日本語のローマ字表・アルファベット表」「アルファベットカード」「時差時計」を付けました。



(ローマ字表・アルファベット表)



(アルファベットカード)



(時差時計)

- 自文化の発信・他文化の尊重 英語を媒介として世界とつながっていけるよう、他文化を尊重する心を育む教材、自文化を発信する教材を配置しました。



(口絵 世界のあいさつ)



(pp.98-99 日本、大発見)

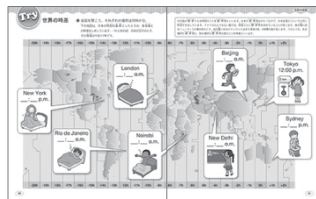


(pp.110-111 英語が話されている国ぐに)

- 他教科との連動 他教科で学習した内容を適宜配置しました。



(pp.108-109 この日本語、どこから来たの?)



(pp.60-61 Try 世界の時差)

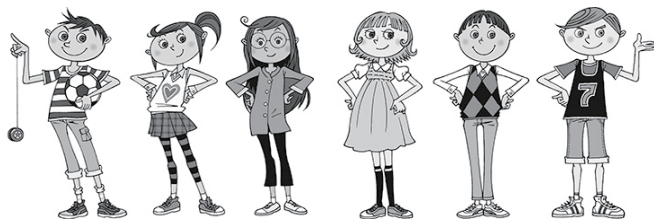
⑤ だれにでも使いやすい教科書のために

- 5領域を示すアイコン

どんな活動をするか一目でわかる、5領域を示すアイコンを付しました。



- メインキャラクターとナビゲーションキャラクター 児童が感情移入できるように、メインキャラクターを設定しました。また、ナビゲーションキャラクターが、児童の理解をサポートします。



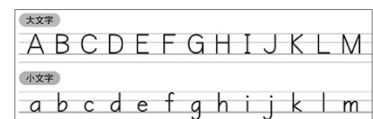
日本、アメリカ、オーストラリア、中国、インドにルーツをもつメインキャラクターたち



児童をサポートするモーナとボラリン

- 専用の手書き文字フォントを開発・採用

児童の手本となる手書き文字フォントを開発・採用しました。大文字・小文字とも、きれいに4線に乗るようにしました。



- ミニ情報 脚注にミニ情報を掲載、補足情報を提供し、学習の助けとしました。

- 特別支援教育への配慮

識別しにくい配色を避けて形や記号などの補助的な手がかりを設けるなど、すべての児童にとって使いやすい紙面づくりを目指しました。

2. 対照表

図書の構成・内容			学習指導要領の内容										該当箇所 (ページ)	配当 時数	
教材名 GR…Get Ready, L…Lesson P…Presentation, 付…付録	言語材料	(1)	(2)	(3)											
				① 言語活動					②						
				ア 聞く	イ 読む [やり取り]	ウ 話す [発表]	エ 書く	オ 使用する 場面	ア 使用する 場面	イ 働き	イ 働き	イ 働き	イ 働き		
付	英語で言えるかな 教室で使う英語	3, 4年生で触れた語句・表現	ア, ウ, エ	ア	(イ)	(ウ)	(ウ)			(7)家庭での生活・学校での学習や活動	(7)(イ)(ウ)(エ)	8 ~ 14	—		
HOP	GR1 Hello! よろしくね!	My name is ~. / I am ~. (Lesson 1~2の言語材料)		ア	(ウ)	(ウ)	(イ)			(イ)挨拶・自己紹介	(7)挨拶をする・呼び掛ける (ウ)説明する・発表する	15	1		
STEP	L1 I have many yo-yos. わたしのコレクション [自己紹介]	パノラマ 自分の持ち物, 身の回りのもの	ア, イ, ウ, エ	ア	(ウ)	(ウ)	(イ)	(ウ)	(7)	(7)家庭での生活	(ウ)説明する	16 ~ 25	6		
		Part 1 I have ~. (How many ~?)			(イ)	(イ)	(イ)								
		Part 2 I like ~.			(ウ)	(イ)									
		Part 3 My birthday is on ~. Write & Talk 自分の名前(ローマ字)			(イ)	(イ)									
STEP	L2 I can jump high. こんなことできる? [できること・とくいなこと]	パノラマ さまざまな動作	ア, イ, ウ, エ	ア	(ウ)	(ウ)	(イ)	(イ)	(7)	(7)家庭での生活	(ウ)説明する (イ)質問する	26 ~ 35	6		
		Part 1 Yes, I can. / No, I can't.			(イ)	(イ)	(イ)								
		Part 2 I can / can't ~.			(ウ)	(イ)									
		Part 3 Can you ~? Yes, I can. / No, I can't. Let's Chant アブドチャンツ			(イ)	(イ)									
JUMP	P1 This is me. 自己紹介, 聞いて! [自己紹介]	Lesson 1~2の言語材料	ア, イ, ウ, エ	ア	(ウ)	(イ)	(イ)		(イ)挨拶・自己紹介	(7)挨拶をする・呼び掛ける・相づちを打つ (ウ)説明する・発表する	36 ~ 38	6 (7)			
HOP	GR2 Hello, Mr. Sano! 教えて, 先生のこと	既習の言語材料 Lesson 3~5の言語材料			(ウ)		(イ)		(7)家庭での生活	(ウ)説明する・発表する (イ)質問する	39	1			
STEP	L3 She is a cook. あの人はだれ? [友だちや家族の紹介]	パノラマ 職業	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	(ウ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(7)家庭での生活	(ウ)説明する・発表する (イ)意見を言う	40 ~ 49	6		
		Part 1 She / He is ~.			(イ)	(イ)									
		Part 2 Is she / he ~?			(イ)	(イ)									
		Part 3 She / He can [is good at] ~. (Who is she / he?) Write & Speak ヒーロー紹介			(イ)	(イ)									
	L4 I get up at 7:00. 一日の生活 [一日にすることとその時間]	パノラマ 一日の生活	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	(ウ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(7)家庭での生活	(ウ)説明する・報告する (イ)質問する	50 ~ 59	6		
		Part 1 What time is it? It's ~.			(イ)	(イ)									
Part 2 I (~一般動詞) at (時間). Part 3 What time do you ~? Write & Talk 日曜日にすること		(イ)			(イ)										
Try	世界の時差	What time is it? It is ~.	ア, イ, ウ, エ		(イ)	(ウ)			(7)家庭での生活	(ウ)説明する (イ)質問する	60 ~ 61	1			
STEP	L5 I play soccer on Mondays. 月曜日には何をします? [ふだんよくすること]	パノラマ 学校生活	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	(ウ)	(イ)	(イ)	(イ)	(7)	(7)家庭での生活・学校での学習や活動	(ウ)説明する (イ)質問する	62 ~ 71	6		
		Part 1 When do you ~? On (曜日).			(イ)	(イ)									
		Part 2 I like (教科).			(イ)	(イ)									
		Part 3 I (~一般動詞) on (曜日). Listen & Write 好きな教科			(イ)	(イ)									
JUMP	P2 He is a music teacher. 知ってる? 先生のこと [先生紹介]	Lesson 3~5の言語材料	ア, イ, ウ, エ	ア	(ウ)	(イ)	(ウ)		(7)家庭での生活	(7)挨拶をする・呼び掛ける・相づちを打つ・聞き直す・繰り返し返す (イ)礼を言う (ウ)説明する・発表する (イ)質問する	72 ~ 74	6 (8)			
HOP	GR 3 Welcome to Japan! 日本のこと, 伝えたい	既習の言語材料 Lesson 6~7の言語材料		ア	(ウ)		(ウ)		(7)家庭での生活	(7)挨拶をする・呼び掛ける (ウ)説明する・発表する	75	1			
STEP	L6 It is in the box. さがしものは, どこ? [位置や場所]	パノラマ 部屋の中	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	(ウ)	(イ)	(イ)	(イ)	(イ)	(7)家庭での生活	(ウ)説明する・発表する (イ)質問する・命令する	76 ~ 85	6		
		Part 1 It is in / on / under / by ~.			(イ)	(イ)									
		Part 2 Put ~ in / on / under / by ~.			(イ)	(イ)									
		Part 3 Where is ~? It is ~. Write & Speak ものの場所			(イ)	(イ)									
Try	道案内	Where is ~? Go straight for ~ blocks. Turn right / left at ~.	ア, イ, ウ, エ	ア	(ウ)	(ウ)			(イ)道案内	(7)呼び掛ける・繰り返し返す (イ)礼を言う (ウ)説明する (イ)申し出る・承諾する (イ)質問する・命令する	86 ~ 87	1			
STEP	L7 I want to go to Kenya. 行ってみたいところ [行きたい国]	パノラマ 世界地図と名所・名産	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	(ウ)	(イ)	(イ)	(イ)	(7)	(イ)旅行	(7)呼び掛ける (イ)礼を言う (イ)意見を言う (イ)質問する	88 ~ 99	6		
		Part 1 (Where do you want to ~?) I want to go to ~.			(イ)	(イ)									
		Part 2 I want to ~.			(イ)	(イ)									
		Part 3 I want to ~. Write & Talk 行きたい国			(イ)	(イ)									
JUMP	P3 Mt. Fuji is beautiful. 日本のこと, おすすめ! [おすすめの場所・こと・もの]	Lesson 6~7の言語材料	ア, イ, ウ, エ	ア, イ	(イ)	(ウ)	(イ)	(イ)	(イ)旅行	(7)呼び掛ける・相づちを打つ (ウ)説明する・発表する (イ)質問する	100 ~ 102	6 (8)			
付	日本, 大発見/CAN-DO リスト 英語でこんなことができた! / アルファベット / 英語の文字 / この日本語, どこから来たの? / 英語が話されている国 くに / Words & Phrases / 5年生で学習した主な表現 / 日本語のローマ字表・アルファベット表 / アルファベットカード / 時差時計											計	65 (70)		